

## 3/26(木)、ロビンソン百貨店札幌跡に 『イトーヨーカドーすすきの店』がオープン ～ススキノ十字街ビルの地下フロアに、食品特化型で出店～

株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長 COO：亀井 淳）は、約34年間の営業を閉店（2009年1月18日）した「ロビンソン百貨店札幌」跡の地下フロアに、全国で180店舗目、北海道内では13店舗目となる『イトーヨーカドーすすきの店』を、3月26日（木）グランドオープンいたします。

『イトーヨーカドーすすきの店』は、ススキノ十字街ビルの地下1・2階にオープンする食品特化型の店舗です。地下1階にはイトーヨーカドー自営の食料品売場を配置し、地下2階には食料品物販や飲食を中心とした専門店テナント23店舗が入居いたします。国内有数の歓楽街「すすきの地区」の入り口に位置した当店では、地下鉄直結の利便性と立地商圏の特性を最大限活用し、ハイグレード商品の充実や単身者向けの少量パック販売、簡便メニューのご提案、業務需要等をカバーすることで、地域のお客様に毎日ご利用いただける店づくりに努めてまいります。

### 【イトーヨーカドー自営ゾーン(地下1階)の特徴】

- ・ 青果売場では、都道府県別で最も多い、道内約360名の生産者が登録する、独自の生鮮食品ブランド「顔が見える野菜。」を導入。生産履歴と栽培のこだわりを携帯電話やパソコンで公開し、味・鮮度に加え、安全・安心を求めるお客様のニーズに対応。また、フルーツトマトを中心に加工品まで揃えたサラダ野菜コーナーを拡大し、簡便性メニューへの地域ニーズにも対応
- ・ 精肉売場では、A5等級の山形牛や福岡県産 宗像牛等、高品質な商品を対面コーナーでご提供。また、日高ホエー豚や古平産三元豚等の道内産こだわり商品や、江別トンデンファーム、十勝池田食品等、地場産のハム・ソーセージを拡大して販売
- ・ 鮮魚売場では、売場担当者が早朝、札幌中央卸売市場に出向き、かれいやにしん等の近海魚を買い付けて店舗に直送することで、その日の開店時より鮮度溢れる魚介類を対面コーナーでご提供。また、立地商圏内に単身者が多いことから、お造りの少量パックや切り身、干物のバラ売り等を拡大し、個食ニーズにも対応。お客様のご要望に応じて、その場で調理・加工も受付可能
- ・ 惣菜売場では、弁当や惣菜、寿司等、すすきの店独自のメニューを季節ごとに変更しながらご提供。また、国内産の焼き鳥や近海魚を使用した焼き魚や煮魚、江戸前寿司等を対面コーナーで実演販売
- ・ セブン&アイグループの総力を結集したPB商品「セブンプレミアム」を導入。「安全・安心」「味・品質」「価格」をコンセプトに、有力メーカーと共同で開発した調味料や即席めん、飲料、菓子、冷凍食品等、約600品目を販売

【『すすきの店』 店舗概要】

施設名称	イトーヨーカドーすすきの店	
所在地	北海道札幌市中央区南4条西4丁目1番地 (ススキノ十字街ビル 地下1・2階)	
電話番号	011-513-5111 (代表)	
代表者	すすきの店長 齊藤 勝政	
従業員数	社員 15 名 パート社員 98 名 (8時間換算)	
開店日	2009年3月26日(木)	
営業時間(通常時)	10:00~21:00(地下1・2階とも)	
店舗面積	4,514 m <sup>2</sup> (すすきの店合計)	地下1階: 1,661 m <sup>2</sup> 地下2階: 2,853 m <sup>2</sup>
専門店テナント数	23 店舗(食料品物販 15、飲食 8)	
基本商圈	2km 圏内 約 6.7 万人	
売上計画	40 億円(初年度)	

【『すすきの店』 店舗周辺図】



以上